

# 田んぼに入って「出穂期」を確認しましょう！

今年も、暑い夏が予想されています。

コシヒカリの出穂期は、ほ場によって差がありますが、例年よりも1週間程度早まる見込みです。葉色が薄い場合は適切に追肥を行い、水管理は飽水管理を徹底してください。

## 1 7月27日現在のコシヒカリ生育状況（拠点ほ場12地点平均、移植日平均5/10）

●葉色「やや薄い」

| 区 分       | 本 年 値 | 目 標 値 |
|-----------|-------|-------|
| 葉 色（SPAD） | 31.5  | 32.5  |

## 2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 1か月予報（2026年7月23日発表）によると、向こう1か月の気温は高い見込みです。また、7月27日には高温に関する早期天候情報も発表されており、出穂期は例年よりも早まる見込みです。地域やほ場によって差はありますが、田植の早いほ場では、出穂期が「1週間程度早まる」と予想されます。
- (2) 葉の色が薄い場合は、追肥を実施してください。なお、出穂期10日前以降の追肥については、節間長に差がないとの知見もあります。佐渡米カレンダーの7月のページを参考に、適切な施用時期と施用量を判断してください。

JA 佐渡では、各営農窓口で葉緑素計（SPAD）を貸し出しています！

- (3) 水管理は、「飽水管理」を行う時期です。足跡や溝に常に水が残る程度を目安に、こまめな入水を心掛けてください。一方で、水をため続けると、溝が崩れたりワキが発生したりする等、秋の収穫作業や稲の根の生長に悪いため、注意してください。
- (4) 出穂が早まっていることから、共同防除の前に防除適期を迎えるほ場では、個別に補完防除を行ってください。

【用水は限りある資源です。地域で話し合い、公平に使用しましょう！】

農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう

次の発行は、7月30日頃を予定しています。